

(アクセス：<http://www.grips.ac.jp/jp/about/access/>)

- ・主催： 文部科学省、
政策研究大学院大学科学技術イノベーション政策研究センター
- ・参加費： 無料（事前登録制）
- ・詳細はこちら <http://ttm.grips.ac.jp/?p=581>

【趣旨】

平成30年3月、世界最高水準の教育研究活動の展開が相当程度見込まれる大学が指定国立大学として選定された。

政府、産業界からの大学の教育研究、マネジメントの質的高度化への期待は高まる一方である。日本の研究力を支える中心的な主体であった国立大学は、現在どのような位置にあり、今後どのような方向に進んで行くのであろうか。

このシンポジウムでは、我が国においてこれまで大学改革に深い関心と造詣とその政策に関わってきた、国立大学、政策担当者、産業界のリーダーをお招きし、それぞれの立場から、近年の大学改革の動向を振り返りながら、日本の国立大学の今後の行方について議論する。

<プログラム>

13:00 - 14:45 【第1部】政府からの大学改革政策の提言

- ・主催者挨拶 文部科学省
- ・来賓ご挨拶「イノベーションと大学改革」（仮題）
衆議院議員 自由民主党知的財産戦略調査会 会長 甘利 明 氏
- ・「大学改革のEBPM—神話を超えて—」
財務省主計局 次長 神田 真人 氏
- ・「CSTIの統合イノベーション戦略について」
内閣府（科学技術・イノベーション担当）審議官 赤石 浩一 氏
- ・「イノベーション創発を見ずえた大学改革～振り返りと今後の方向性～」
文部科学省高等教育局 局長 義本 博司 氏

14:45 - 15:00 休憩

15:00 - 17:00 【第2部】学術界ならびに産業界の視点から パネルディスカッション

<登壇者>

上山 隆大 氏（総合科学技術・イノベーション会議 常勤議員）
五神 真 氏（東京大学 総長）
小林 喜光 氏（経済同友会 代表幹事）
中西 宏明 氏（日本経済団体連合会 会長）
橋本 和仁 氏（国立研究開発法人物質材料研究機構 理事長）
山極 寿一 氏（京都大学 総長）（※五十音順）

参加申し込み： 登録フォーム／Registraion Form
(<https://krs.bz/scirex/m?f=166>)

申し込み締切： 6月26日（火） 正午

※参加費は無料です。

なお、申込みは定員に達し次第、締め切らせていただきます。

※登録フォームからお申込いただけない場合は、下記内容を明記の上、
「大学トップマネジメント研修」事務局（ttm-ml@grips.ac.jp） まで
メールにてお申し込みください。（*は必須項目）

1. 氏名*
2. ふりがな
3. 所属*
4. 役職
5. メールアドレス*
6. 主催者からの関連イベントのメール配信の希望の有無

皆様のお越しをお待ちしております。

以 上